

## 平成27年度第3回清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会 議事録

日時：平成28年2月17日（水）

10:30～12:00

場所：岐阜県庁4階 特別会議室

### 1 開会

[司会（森 恵みの森づくり推進課管理調整監）]

定刻となりましたので、ただ今から会議を開催致します。

本日は、議事の中に審査案件がございますので、非公開で開催させていただきます。

また、本日の資料のうち、審査案件に係る資料につきましては、審議会終了後、事務局で回収させていただきますので、ご協力をお願い致します。

それでは、まず、林政部長よりご挨拶を申し上げます。

### 2 あいさつ

[瀬上 林政部長]

（あいさつ） ～略～

[司会]

続きまして、小見山会長より、ご挨拶お願い致します。

[小見山 会長]

みなさん、おはようございます。

今日は、地元団体の発想ですとか、地元住民が望んでいることを審査するという過程に入ります。また、NPO 団体などの森林活動の原動力、機動力となるところからの要望を審査します。県民協働をうたう森林・環境税としては、大変大事なところだと思いますので、ご審議のほど、よろしくお願い致します。

[司会]

ありがとうございました。

本日の会議の出席者につきましては、お手元の出席者名簿のとおりとさせていただきます。

本日は、議事が2件、報告が1件ございます。終了時刻は12時を目途としておりますので、委員各位のご協力をお願いします。

それでは、このあとの会議の進行につきまして、小見山会長にお願いしたいと思っております。それではよろしくお願い致します。

### 3 議 事

議事（1） 平成28年度清流の国ぎふ市町村提案事業採択事業案について

[小見山 会長]

はい、では議事（１）の「平成２８年度清流の国ぎふ市町村提案事業採択事業案について」の説明からお願いします。

[説明１（平井 恵みの森づくり推進課長）]

（資料１－１、１－２、１－３により原案を説明） ～略～

[小見山 会長]

はい、ではご審議ください。ご意見等いかがでしょうか。

※ [中略] 審査案件事項のため非公開

[笠井 委員]

いずれもかなり吟味してあって良いと思います。その上で要望がありまして、５０もの事業が県内各地で行われます。それは市町村側が要望してきたものになりますので、ぜひ現地でお披露目といたしますか、「森林・環境税を活用して行っていますのでご活用ください」ということをそれぞれでアピールしてもらいたいと思います。

[平井 恵みの森づくり推進課長]

これまでもそうなのですが、この清流の国ぎふ市町村提案事業の場合は、必ず結果を市町村広報紙に載せることを義務付けております。

[笠井 委員]

わかりました。ですが、現地で整備する事業が多いので、大げさな儀式でなくていいので、現地において地域住民に対し、何かアピールできるといいと思います。

[平井 恵みの森づくり推進課長]

わかりました。

※ [中略] 審査案件事項のため非公開

[小見山 会長]

全体的に盛りだくさんの提案が出てきていますね。その中で、「地域」、「里山」、「多様性・水環境」、「県産材」という括りで分けられています。もともとこの市町村提案事業は、地域から出てくる要望ですので、当然ながら様々なものが出てきますね。提案にあたっての下限額が５０万円ということで、事業としては大きくなっているのですが、最初に出てきましたように、例えば、おもちゃの開発や幼児教育、一般教育というところをもっと工夫すれば、一つに括れたりすると思いますね。やはり次期の森林・環境税に向けてはそういうところを、林政部のほうでも工夫していただいて、もともとの原義に近い「地域」というものをテーマにすると

ということならば、やはり次期は改良したほうが良いのかなと思います。

また、「里山」の区分で不採択になっているものが多く、14の提案事業のうち5事業が不採択になっていますね。「県産材」区分が一番少ないですけど、県産材をもっと使ってほしいなと思います。そういうところをいろいろ見て、この機会ですから次期に向けて、工夫や評価をしていかなければいけないと思います。

※ [中略] 審査案件事項のため非公開

タイトルから具体性が読み取れないものが結構あります。もともとの募集要項に書いてあるような名前がタイトルになっているものもあるので、それはいかがなものかと思います。タイトルで特徴が分かるような工夫を、申請する側もしなければいけないですし、受ける側も厳しく指導をしなければいけないと思います。

申請にあたっての下限額が50万円で本当にいいのかというところもあります。下限額を上げるとどうなるのかはわかりませんが、一つ一つの事業が大きくなると思いますよね。

さて、他に意見はいかがですか。

[竹中 委員]

それぞれ地域によって差がありますね。この分野なら、ここが良い取り組みをしている、というような、そんなところを見つけていただくと良いかなと思います。

[山岡 委員]

資料1-1を見ますと、それぞれにたくさんの要望があるのだなと思います。一つずつ丁寧にやっていただければと思います。

※ [中略] 審査案件事項のため非公開

[小見山 会長]

はい、よろしいですか。議事(1)はこれで終わります。

では、議事(2)に移ります。「平成28年度清流の国ぎふ地域活動支援事業採択事業案について」です。説明をお願いします。

議事(2) 平成28年度清流の国ぎふ地域活動支援事業採択事業案について

[説明2(平井 恵みの森づくり推進課長)]

(資料2-1、2-2、2-3により原案を説明) ~略~

[小見山 会長]

はい、ありがとうございました。事業タイトルを見ると、面白そうなものがたくさんありますね。

さて、ご意見いかがですか。

※ [中略] 審査案件事項のため非公開

[笠井 委員]

市町村提案事業において、行政とNPO団体などが組んで事業を行うことに関しては、排除されているわけではないので、そういった形態での提案もあるのですね。

[平井 恵みの森づくり推進課長]

はい、その通りでございます。NPO団体などがとても頑張っている地域がありますが、市町村と連携ができているところは一緒に組んで提案を出してきますし、そうでないところは別々に出してきております。

[笠井 委員]

わかりました。あともう一点、NPOというとお年寄りの方が多いう現状があります。ユニークな事業がいろいろありますので、特に若い方にどんどん参加していただいて、事業を進めていただけるとありがたいなと思います。一つの要望として申し上げます。

[鈴木 委員]

事業の特性なのですけども、市町村提案事業で採択し、活動を支援した結果、事業体が成長したりですとか、関わる人たちを巻き込んでNPOを結成したりですとか、あるいはNPOの事業の中で新たにやろうという、そういった連携性が生まれたような事業を検証してみると面白いと思います。

市町村への支援が、市町村の財源補填ということではなくて、担い手を育成して、そこが自立をし、そして自らが申請をしていくことができるのかどうかの検証を是非やっていただきたいと思います。そして、段々と後者のほうに支援の軸足を持っていくということが望ましいと思いますので、そこは是非お願いしたいと思います。

[小見山 会長]

今おっしゃったことは大事なところかもしれませんね。NPOは個性が強いところもあって、自らでどんどん活動している、これも大事なことです。ですが、行政と一緒にやっていく、という活動もあったほうが良いのではと思います。この点は、モニタリングを続けてやっていくところですかね。

[高木 委員]

今のお話と少し関連するのですが、民間団体などが提案してくる地域活動支援事業について、ここに市町村が関わるかどうかは自由なのですよね。地元で活動している団体と市町村を繋げると、地元での活動のし易さが生まれて、もちろん独自性は保たれたまま、より活発な活動が望めると思います。ですので、市町村と民間団体を繋げることをしてあげてみてはと思います。

**[小見山 会長]**

今のお話の件、すべての事業で、というのは少し難しいかもしれませんが、そういう工夫も必要かもしれません。県内で市民活動をインキュベーションする、その起爆剤のようなものですね。そういう割り当て方法を、この5年間のデータを基に考えてもらいたいと思います。こういうものを押し上げていかなければいけませんからね。

不採択となった事業で自立性という言葉が出てきましたが、NPOはお金の面で自立というのはなかなか厳しいところがあります。

※ [中略] 審査案件事項のため非公開

**[徳地 委員]**

どこも高齢化が進んでいるわけですが、そこで高校枠というものを設けてみてはいかがでしょうか。高校には科学部などの部活動がありますので、そこにスポットを当ててみると良いと思います。というのも、彼らはお金を非常に有効に使われますので、50万円もあればとても面白いことをやってくれるのではないかと思います。指導に関しては、既存のボランティアの方に仰ぐことで、いろいろなところと連携して輪が広がっていくと思います。

**[平井 恵みの森づくり推進課長]**

実は森林・環境基金事業の別事業で「森と木と水の環境教育推進事業」というものがあります。それは、小・中・高校で環境教育を実施したいというところに、上限はありますが、10分の10で助成するという事業でございます。例えば、大垣東高校などが活用されています。ただ、この事業は金額的に少く、補助が50万円となるとまた違った結果が出るかもしれませんので、次回に向けて検討させていただきたいと思います。

**[小見山 会長]**

良いアイデアかもしれませんね。新しいアイデアを取り入れながら進めていきなさい、という意見でございます。みなさま、他にご意見はよろしいですか。

それでは、「清流の国ぎふ市町村提案事業」と「清流の国ぎふ地域活動支援事業」の二つの事業採択案について、すべて承認するというところでよろしいですか。

(委員全員の承認を確認)

はい、ありがとうございました。

では次に移りたいと思います。

## 4 報告

### 環境保全林整備事業における効果検証について

**[報告（森林研究所 専門研究員）]**

(資料3より研究途中結果報告) ～略～

## 5 その他

### 第4回緑豊かな清流の国ぎふづくり県民フォーラムについて

[説明2 (平井 恵みの森づくり推進課長)]

(資料4よりイベント概要の説明) ～略～

[小見山 会長]

ありがとうございました。以上で、今回の議題はすべて終わりました。何か最後にご意見のある方はいらっしゃいますか。

はい、ではこれで終わりますので事務局にお返しします。

[司会]

長時間に渡りまして熱心なご議論をいただきまして、ありがとうございました。

閉会にあたり環境生活部次長からお礼を申し上げます。

[新田 環境生活部次長]

(あいさつ) ～略～

[司会]

長時間にわたりまして熱心なご議論をいただきましてありがとうございました。会議冒頭でお願いしましたとおり、審査に係る資料は回収させていただきますのでよろしくお願いします。

以上をもちまして、本日の会議を終了させていただきます。ありがとうございました。